

ひざの痛み 我慢しないで！ 専門医に相談して、適切な治療で豊かな生活を

専門医に
聞いて
みました



医真会八尾総合病院 整形外科(膝の外科)医長
奥田 真義(おくだ まさよし)先生

奈良県立医科大学卒業。同大整形外科教室に入局。奈良県立三室病院整形外科、奈良県立奈良病院救命救急センターなどを経て現職に。ドイツ留学(ベルリン・ペーリング病院)をはじめアメリカ・タイなど、海外での研修実績も多数

ひざの痛みで悩む人へメッセージ

まずは専門医を受診し、 痛みの原因を把握して

自分で何とかしようとして、最後の最後に病院に駆け込むという人が多いですが、あまりにも症状が悪くなってからは、手術も行いにくくなるなど問題も生じてきます。ひざが痛くて悩んでいる、日常生活に不自由を感じている人は、まずは近くの「ひざの」専門医を受診し、痛みの原因を把握してください。「餅は餅屋」です。専門医だからこそ、正確な原因を調べて、より適切な治療をすることができます。我慢して悩んでいるのではなく、痛みは専門医に相談して、適切な治療で豊かな生活を送ってください(奥田先生)。

「O脚がひどい」「軟骨がほとんどない」など、人が人工関節置換術をかもいわれています。症状が重い場合は「人工関節置換術」を行います。これは変形した骨の表面を取り除き、代わりに人工関節に置き換えるというものです。現在は向上しており、30年くら

**Q 「人工関節置換術」とは、
どのような手術ですか？」**

日本人は、とにかく我慢がちです。早めには、体重の4倍から5倍の重さがひざに掛かっています。症状が軽い場合は、手術をせずに進行を遅らせたり、症状を緩和させたりする保存療法が可能です。また、鍛えることも大事です。運動療法もあります。になります。

Q 「どのようなきっかけで受診をする人が多いのでしょうか？ また治療方法を教えてください。」

日本人は、とにかく我慢がちです。早めには、体重の4倍から5倍の重さがひざに掛かっています。症状が軽い場合は、手術をせずに進行を遅らせたり、症状を緩和させたりする保存療法が可能です。また、鍛えることも大事です。運動療法もあります。になります。

Q 「ひざが痛む」という悩みをよく聞きます。原因となる疾患にはどのようなものがありますか？」

「ひざが痛む」「O脚になってきたかも」…。年齢を重ねるとともに、ひざに関する悩みはつきないもの。我慢強い日本人は、少しぐらいの痛みは我慢してしまいがちです。それが原因で症状をより悪化させてしまうことが多くあります。いつまでも元気に過ごすために、ひざの痛みを感じたらどのような対処するべきなのでしょう。か。医真会八尾総合病院 整形外科 医長の奥田真義先生に話を聞きました。

痛みが取れることはもちろんですが、特に女性から「まっすぐですらうとした足になった」ということをよく聞きます。また、退院後にポーツをほじられる人はたくさんいます。ゴルフ

痛みが取れることはもちろんですが、特に女性から「まっすぐですらうとした足になった」ということをよく聞きます。また、退院後にポーツをほじられる人はたくさんいます。ゴルフ

痛みが取れることはもちろんですが、特に女性から「まっすぐですらうとした足になった」ということをよく聞きます。また、退院後にポーツをほじられる人はたくさんいます。ゴルフ

**Q 「手術を受けた患者さんの
その後の様子はいかがでしょうか？」**

人工関節置換術の
術前、術後のX線写真

手術後
O脚の改善が確認できます

手術前
軟骨がすり減り、O脚になっています

最近よく耳にする「MIS(最小侵襲人工関節置換術)」についても教えてください。

MISとは、できるだけ手術時の傷口を小さくし、筋肉を切らないように手術するもの。傷口の大きさは9センチ程度で、術後のリハビリは、患者さんの体への負担が少なくなるという